

学校 番号	17	学校名	長野東高等学校
----------	----	-----	---------

平成 29 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成 30 年 2 月 22 日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 学校からの報告
学校評価、学校運営、進路指導、生活指導、生徒会、学習指導、渉外、各学年
- 4 意見交換～一年間の総括ご意見、次年度へのご提言
- 5 学校長まとめの挨拶
- 6 閉会

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・総括資料が多いため、一週間前に送付して予め目をとおしておいていただくことで、学校からの説明をできるだけ短くし、限られた時間の中で多くのご意見をいただきやすくした。
- ・HP などから抜粋した文章と写真をまとめて参考資料とすることで、一年間の生徒の活動の状況を理解してもらいやすくした。
- ・学校の様子を知ってもらうために、7 時間目の授業を公開した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・高大接続改革や「学びの改革」、首都圏での私立大の状況など様々な変化が次々と起こってくる。特に私立大学については受け方への具体的な指導が必要である。今年度はセンター試験でも高得点を取れた生徒もいるようであるので、引き続き生徒の進路希望が実現できるように、勉強の仕方、取り組み方を早い段階から、生徒・保護者に伝えていって欲しい。
- ・駅伝全国準優勝、野球部県大会出場など部活動での活躍は素晴らしい。結果だけを重視するのではなく、県立高校として「頑張っている仲間が同じ教室で学んでいる。」ということを他の生徒たちも実感し、卒業後のキャリアや考え方、モチベーションを身に着け、自分たちの道を拓いていける指導を今後も続けていくことがより重要である。
- ・今後長野市もどんどん高齢化が進んでいくと思われる。この地域をどうやって支えていくのか？グローバル社会での自分の立ち位置はどうか？たとえ失敗しても、責任感を持ってそれらの課題にチャレンジしていく生徒を、学業とスポーツや文化活動を通して育てて欲しい。
- ・高校生活の 3 年間はあっという間である。将来どんな職業を選択するのか。そのために全国の色々な大学や専門学校をどうやって決めていくのか。その土台を高校生活でしっかりと築けるよう指導していただきたい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・部活動などの成果は大きく評価していただいた。次年度の進路指導に向けては貴重な提言をいただくことが出来た。今後の新たな動きと併せて、担当部署で検討し、生徒の進路実現に生かしていきたい。
- ・ホームページや資料を通して生徒の様子を知っていただくことは出来たが、生徒会役員との懇談など、もっと生徒の様子を実際にみていただくことが必要であると感じた。次年度は会議日程等を工夫してそのような場を設定したい。